

校長あいさつ

さいたま市立岸町小学校
校長 笠原 実

今年例年より早く春が訪れ、桜の瑞々しい若葉に迎えられ、令和2年度がスタートしました。

私はこの4月より、竹田 忠一 前校長先生の後を引き継いで着任いたしました、笠原 実(かさハラ マコト)です。竹田先生の進めてこられた「夢と希望を育む楽しい学校」を継承し、子どもたちと保護者の皆様、地域の皆様、私たち教職員とが、絆を深めながら、教育活動が充実できるように努めてまいります。今年度は、新入生127名を迎え、全児童712名(20学級、3特別支援学級)での船出であります。

輝かしい歴史と伝統のある岸町小学校の学校教育目標「かしこく」(知育)、「やさしく」(徳育)、「たくましく」(体育)、「なかよく」(コミュニケーション)の実現を目指し、今年度は以下の学校経営方針を重点に掲げました。

〈令和2年度 学校経営方針の重点〉

- 1 子どもをよくみます。よく話を聴きます。(一人ひとりのよさを大切にします)
- 2 わかりやすい授業にします。(具体的なものやことを、指導に生かします)
- 3 あいさつが得意な学校にします。(多くの人と絆が深められる学校にします)

私の教育信条は「**教育は、信頼の上に成り立つ**」です。尊敬する先輩が唱えていた言葉の受け売りですが、我が意を得たりと感じ、私の教育信条にさせていただきます。どんなに高い指導技術があっても、子どもと教師の間に信頼関係がなければ、教師の投げかけは子どもの頭や心に響くことはありません。まずは子どもに寄り添い、話を共感的に聴き、子ども一人ひとりのよさを認めた上で、解決方法を共に考えていく、そんな関係づくりを目指します。私たち教職員と保護者の皆様、地域の皆様との信頼関係も同様です。学校教育目標や今年度の学校経営方針は、皆様と学校との信頼関係なくしては達成することはできません。皆様の信頼を得るために、教師の指導力の向上を目指します。子どもたちにはできるだけ具体的な事物を提供したり、発問を投げかけたりできるようにします。定期的に研修を行い、互いに授業を見合い、改善に向けて協議を重ねる、常に学び続ける教師であるように努めます。そして、保護者・地域・学校が協力して、みんなで子どもを育てていきます。子どもの明るいあいさつは、地域全体を元気にします。コミュニケーションの第一歩であるあいさつを充実させるために、校内はもちろん、登下校中にお世話になっている見守りの方、交通指導員の方、ご近所の方に、自分から進んであいさつができるように指導します。どうか、皆様も子どもがあいさつをした時には、素敵なあいさつを返していただけるとありがたいです。みんなで絆を深め、みんなで岸町小学校の子どもを育てていけるように、これからも御理解と御協力をお願いします。

令和2年4月吉日